



2022年2月14日（月）

愛知県経済産業局産業部産業振興課
ロボット国際大会推進室 企画・調整グループ
担当 都筑、石原
内線 3458、3459
ダイヤルイン 052-954-6698

第1回 高校生ロボットシステムインテグレーション 競技会の参加チーム校とサポーター企業を募集します

愛知県では、2021年度のロボット国際大会（ロボカップアジアパシフィック 2021 あいち、ワールドロボットサミット 2020）の成果を継承し、モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ※（通称、「ロボットS^{エスアイア}Ier」）の人材創出を目的に、全国の高校生を対象とする競技会を2022年度から実施する予定です。

2022年度の第1回開催に向けて、参加チーム校と参加チーム校を支援するサポーター企業をそれぞれ募集します。

※ロボットシステムインテグレータ：ロボット導入の際に、システムの設計・構築及び設置等を行う職種のこと。

1 参加チーム校の募集

(1) 参加チーム校の主な取組内容

① 競技課題の実施

- ・株式会社デンソーウェーブ製、株式会社FUJI製、三菱電機株式会社製のいずれかのロボットを用い、講習や実習を通じて所定の競技課題であるモノづくりを自動化するロボットシステムを構築。

② 成果の披露

- ・2022年12月10日から11日までAichi Sky Expoで行う成果披露イベントにおいて、取組の成果を披露。

※成果披露イベントにて入賞者を決定します。

(2) 参加資格

最大10名の生徒でチームを編成することができる日本国内の高等学校

(3) 募集期間

2022年2月14日（月）から2月28日（月）まで

(4) 募集チーム校数

9校

(5) 申込方法

「参加チーム校申込書」に必要事項を記入の上、以下のメールアドレス宛て提出してください。なお、申込書及び募集要領は、参加チーム校募集用Webサイト（<https://www.pref.aichi.jp/site/robot-si-league/recruit2022.html>）からダウンロードできます。

提出先：robotconv@pref.aichi.lg.jp

(6) その他

詳細については、「参加チーム校募集要領」を確認してください。

2 サポーター企業の募集

(1) サポーター企業の主な取組内容

サポーター企業は1社につき参加チーム1チームのサポートを実施。

① ロボットシステムの調整・搬送

担当する参加チームが取り組むロボットシステムの動作確認や高等学校等への搬送を実施。

② 参加チームの取組への指導・助言

(2) 参加資格

日本国内に事業所を持つロボットシステムインテグレータ企業

(3) 募集期間

2022年2月14日（月）から2月28日（月）まで

(4) 募集企業数

9社

(5) 申込方法

「サポーター企業申込書」に必要事項を記入の上、以下のメールアドレス宛て提出してください。なお、申込書及び募集要領は、サポーター企業募集用 Web サイト

(<https://www.pref.aichi.jp/site/robot-si-league/recruitsupport2022.html>) からダウンロードできます。

提出先：robotconv@pref.aichi.lg.jp

(6) その他

詳細については、「サポーター企業募集要領」を確認してください。

3 選定について

申込書をもとに高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会で審査し、参加チーム校及びサポーター企業の選定、サポーター企業と参加チーム校との組み合わせを決定します。

4 問合せ先

愛知県経済産業局産業部産業振興課

ロボット国際大会推進室 企画・調整グループ

担当：都筑、石原

メール：robotconv@pref.aichi.lg.jp

高校生ロボットシステムインテグレーション競技会
(略称：高校生ロボット^{エスアイ} S I リーグ) の概要

1 趣旨

愛知県では、2021 年度のロボット国際大会（ロボカップアジアパシフィック 2021 あいち、ワールドロボットサミット）の成果を継承するため、モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ（ロボット^{エスアイ} S Ier）の人材創出を目的に、全国の高校生を対象とした競技会を 2022 年度から開催する予定。

本取組を通じて、高校生に対し、産業用ロボットの導入やプログラミングなどの技術の習得とともに、ロボット S Ier 企業への就職の促進を図る。

2 競技会の主な特色

- (1) 競技参加者は、全国の高校生によるチーム制（上限 10 名）。
- (2) チームは、モノづくりの自動化を行う 3 種類の競技課題から 1 課題を選択し、授業（週 1 回 3 時間の課題研究）や部活動などで 8 ヶ月程度、競技課題に取り組む。
- (3) ロボット S Ier 企業が、「サポーター企業」として各チームに対し随時指導や助言を行う。
- (4) 競技に用いるロボットについては、県内ロボットメーカー 3 社（株式会社デンソーウェーブ、株式会社 FUJI、三菱電機株式会社）から無償貸与を受ける。

3 推進体制

- (1) 主催：愛知県
- (2) 共催：未来ロボティクスエンジニア育成協議会
- (3) 後援：経済産業省（申請中）、公益社団法人全国工業高等学校長協会
- (4) 協力：株式会社デンソーウェーブ、株式会社 FUJI、三菱電機株式会社、
IDEC ファクトリーソリューションズ株式会社、SMC 株式会社、
エヌアイシ・オートテック株式会社、オムロン株式会社
※いずれもロボットや部品を無償で貸与いただける企業
- (5) 特別協力：FA・ロボットシステムインテグレータ協会
- (6) 運営：高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会
- (7) 事務局：愛知県経済産業局産業部産業振興課ロボット国際大会推進室

4 トライアル大会について

2022 年度からの競技会実施に向け、競技の内容や運営の試行のために、2021 年度に県内の工科高校 3 校（愛知総合工科高校、春日井工科高校、半田工科高校）から 1 チームずつ参加して実施。2021 年 11 月に開催した「ロボカップアジアパシフィック 2021 あいち」にて成果を披露。

<参考：トライアル大会の様子>



高校でのサポーター企業による実習



ロボカップアジアパシフィック 2021 あいちでの実演審査



ロボカップアジアパシフィック 2021 あいちでのプレゼン審査